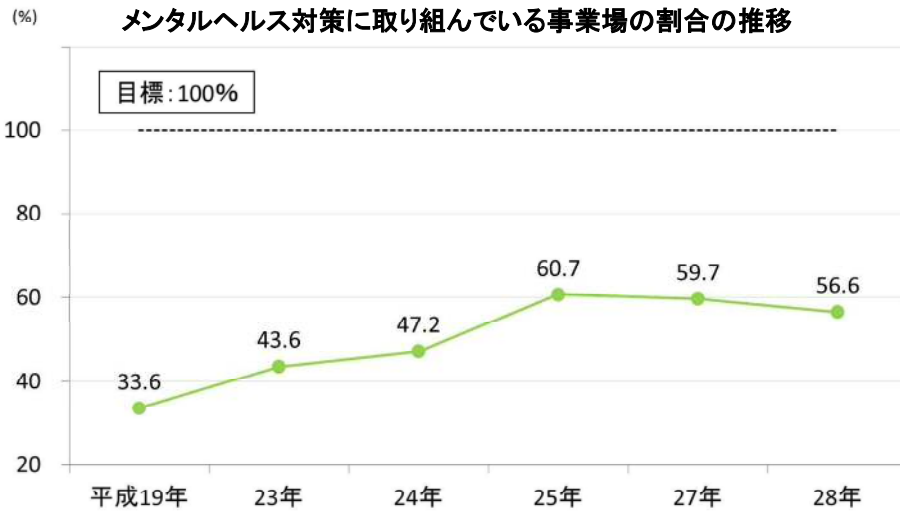


別紙

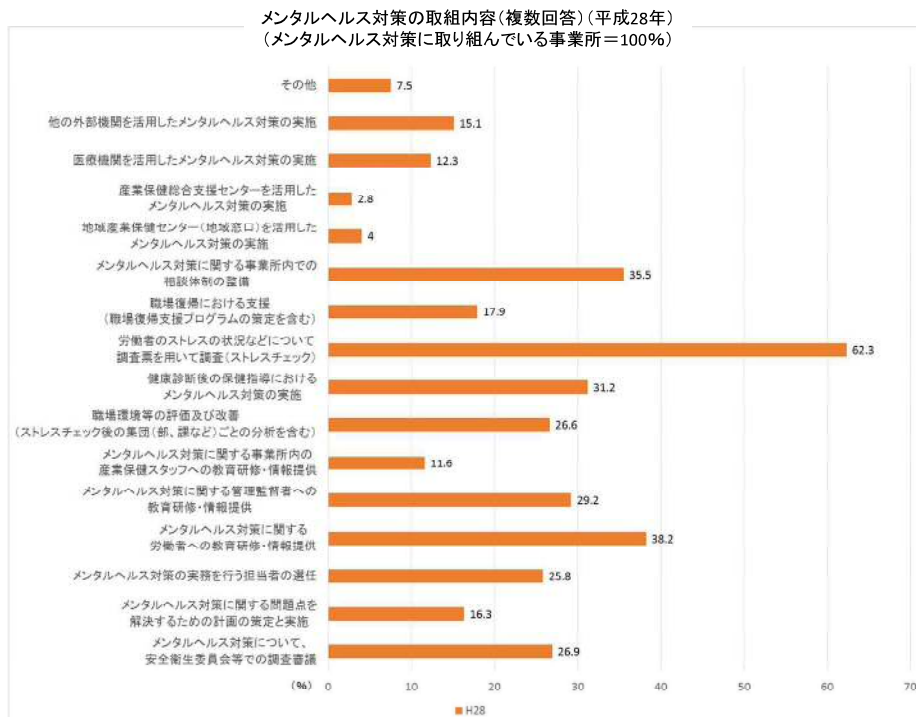
- 別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標
 (1) こころの健康
 ③ メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加



データソース:
 平成19,24年 厚生労働省「労働者健康状況調査」、
 平成23年 厚生労働省「労働災害防止対策等重点調査」、
 平成25,27,28年厚生労働省「労働安全衛生調査」

別紙

- 別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標
 (1) こころの健康
 ③ メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加



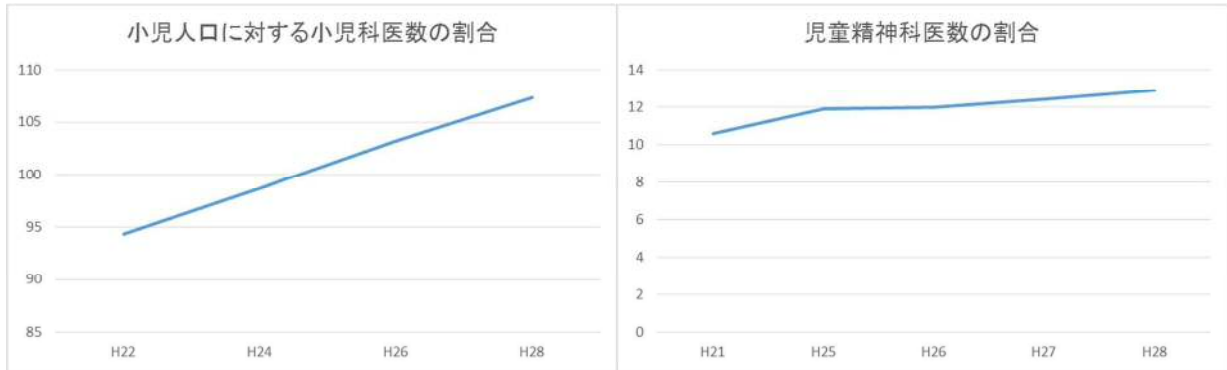
データソース: 平成28年厚生労働省「労働安全衛生調査」

図3-5

別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標

- (1) こころの健康
 - ④ 小児人口10万人当たりの小児科医・児童精神科医師の割合の増加

目標: 増加傾向へ



データソース:
 <小児科医数>厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」
 <児童精神科医数>日本児童青年精神医学会調べ

図3-6

別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標

- (2) 次世代の健康
 - ① 健康な生活習慣(栄養・食生活、運動)を有する子どもの割合の増加
 - イ 運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加

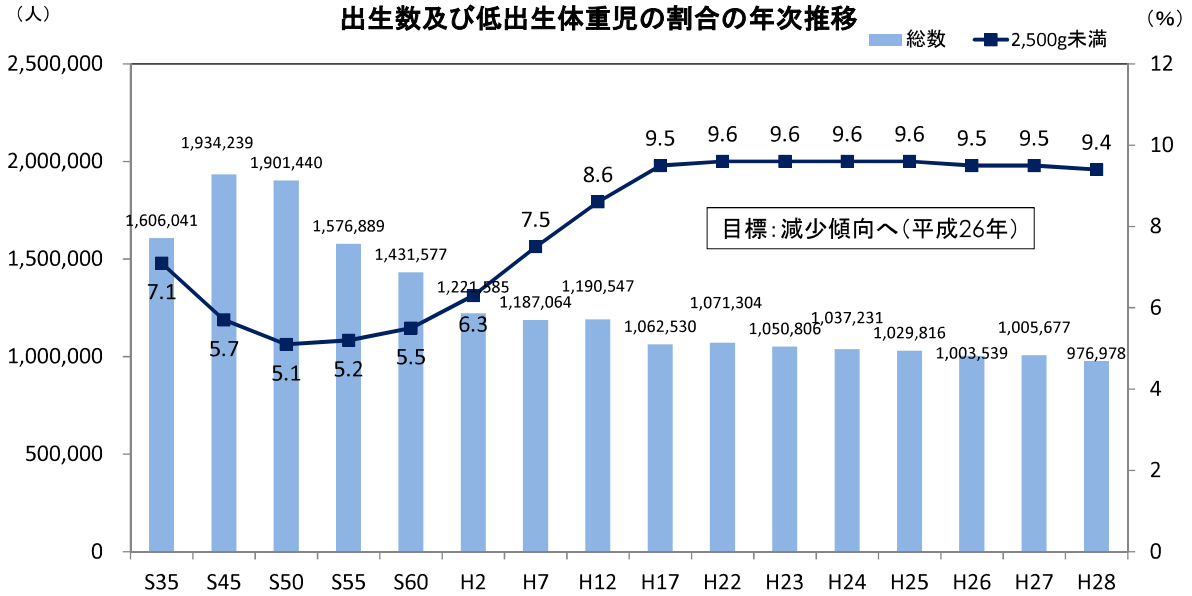


	22年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
小5男	10.5%	10.9%	9.1%	6.3%	6.6%	6.5%	6.4%
前年比		0.4%	-1.8%	-2.8%	0.3%	-0.1%	-0.1%
小5女	24.2%	23.9%	21.0%	13.0%	13.0%	11.6%	11.6%
前年比		-0.3%	-2.9%	-8.0%	0.0%	-1.4%	0.0%

データソース: 文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

図3-7

別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標
 (2) 次世代の健康
 ② 適正体重の子どもの増加
 ア 全出生数中の低出生体重児の割合の減少



データソース: 厚生労働省「人口動態調査」

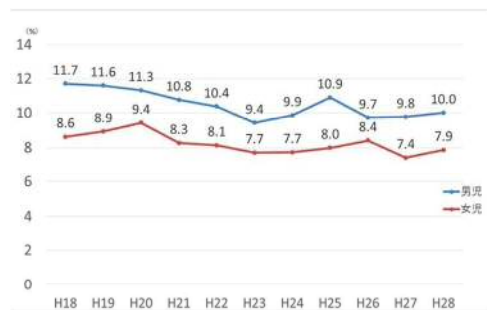
図3-8

別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標
 (2) 次世代の健康
 ② 適正体重の子どもの増加
 イ 肥満傾向にある子どもの割合の減少

中等度及び高度肥満傾向児の割合の年次推移



(参考)
肥満傾向児の出現率の年次推移



※肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重を求め、肥満度が20%以上の者

データソース: 文部科学省「学校保健統計調査」

図3-9

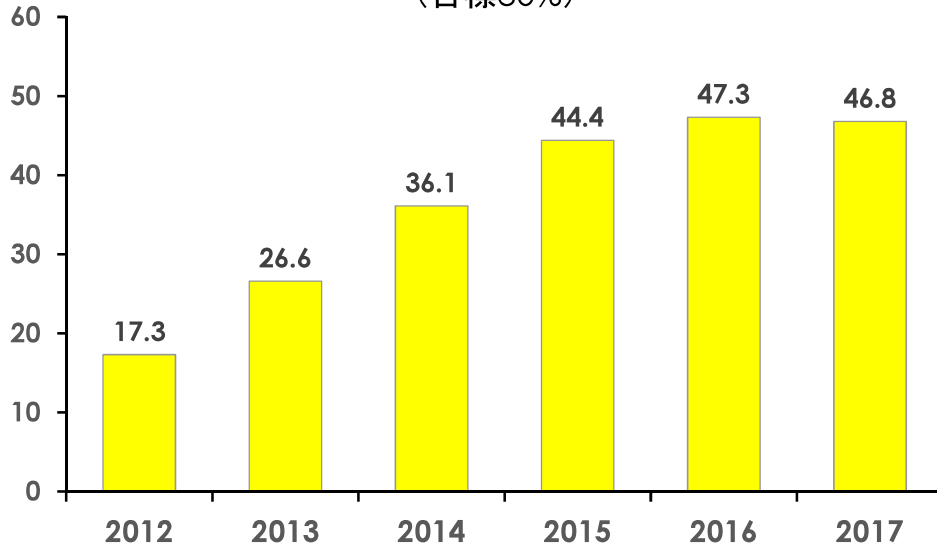
別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標

(3) 高齢者の健康

③ ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している国民の割合の増加

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している国民の割合(%)

(目標80%)



データソース: 2012~2014年 日本整形外科学会によるインターネット調査

2015年~ 公益財団法人「運動器の10年・日本協会」によるインターネット調査

図3-10

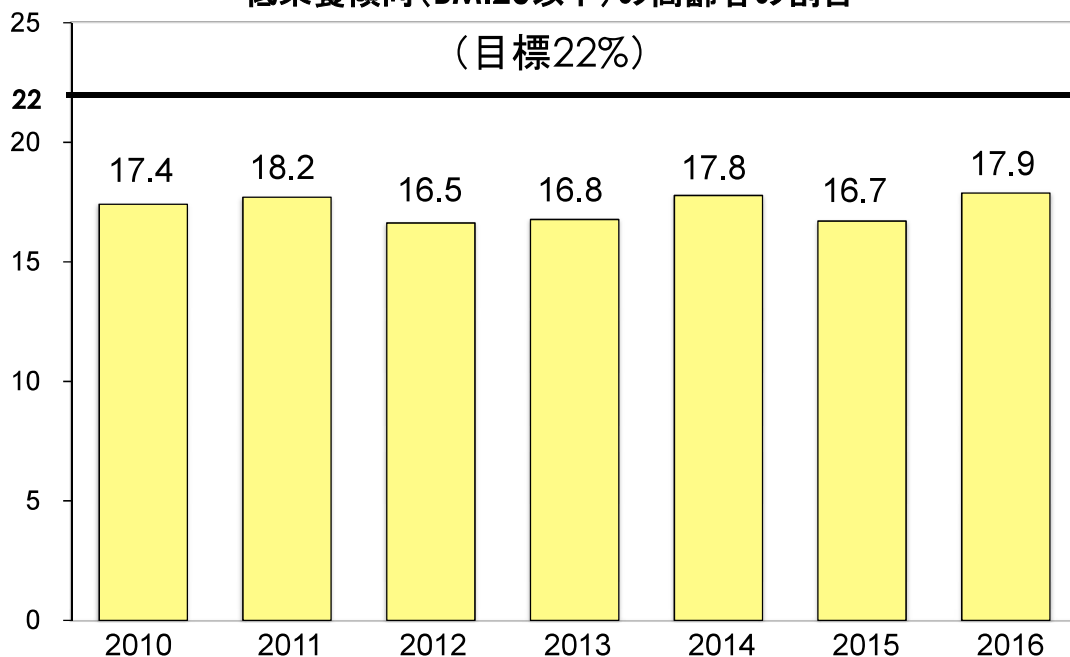
別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標

(3) 高齢者の健康

④ 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制

低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合

(目標22%)

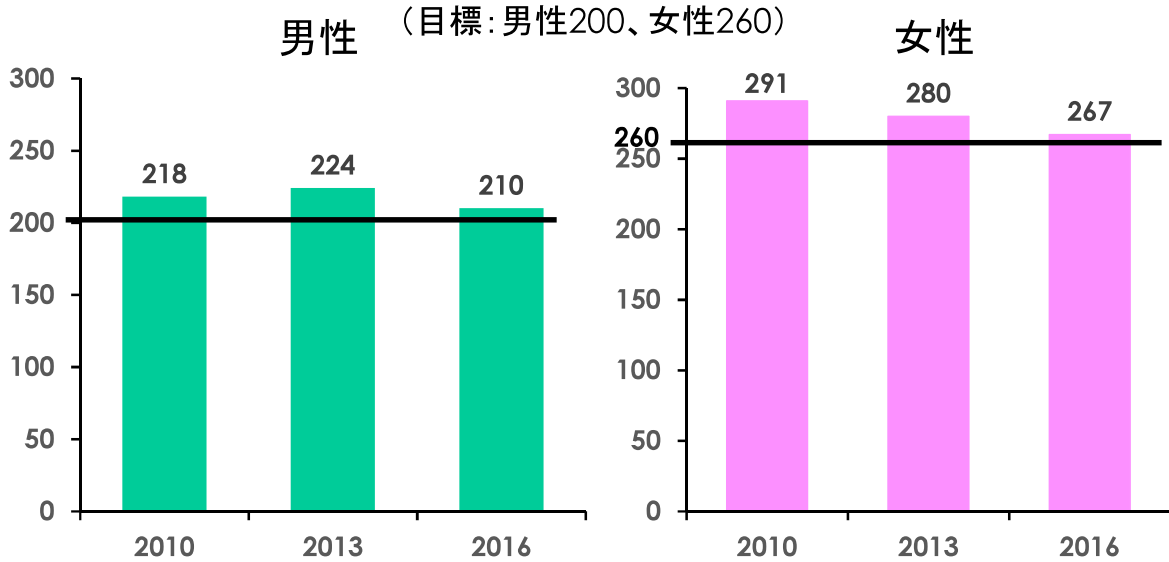


データソース: 厚生労働省「国民健康・栄養調査」

図3-11

別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標
 (3) 高齢者の健康
 ⑤ 足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(1,000人あたり)

足腰に痛みのある高齢者の割合(1000人あたり)



データソース:厚生労働省「国民生活基礎調査」

図3-12

別表第三 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標
 (3) 高齢者の健康
 ⑥ 高齢者の社会参加の促進(就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加)

高齢者の社会参加の状況

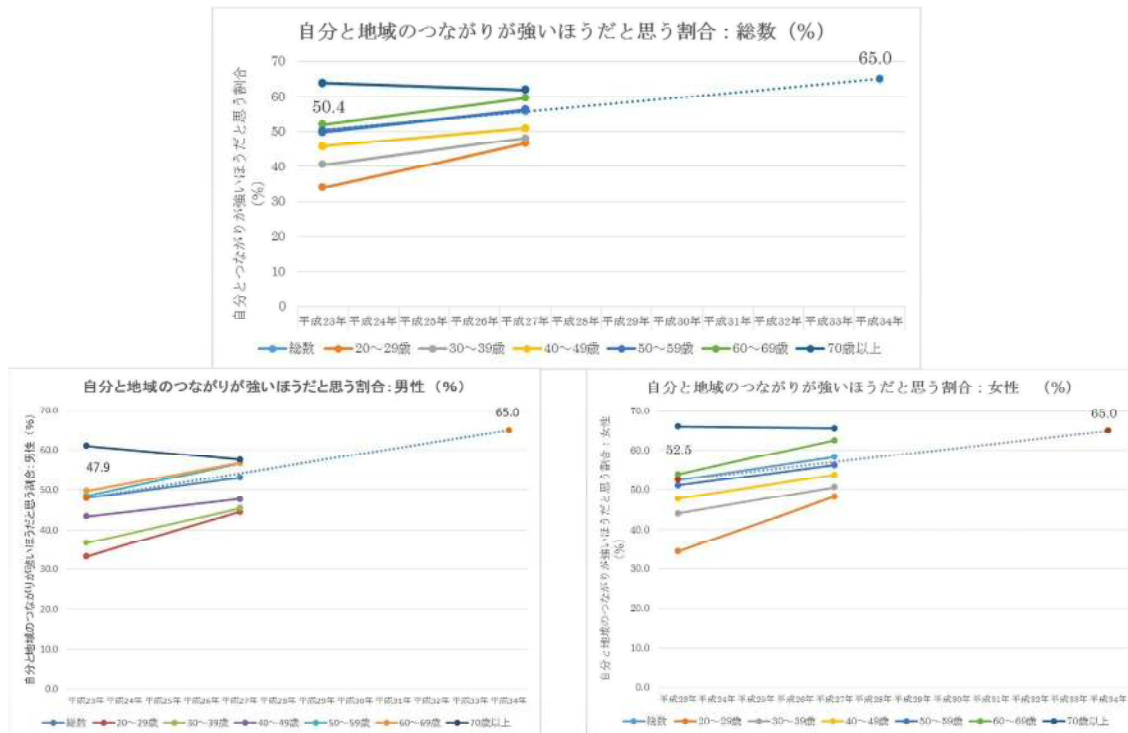


データソース:厚生労働省「国民健康・栄養調査」

図4-1

別表第四 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

- ① 地域のつながりの強化（居住地域でお互いに助け合っていると思う国民の割合の増加）

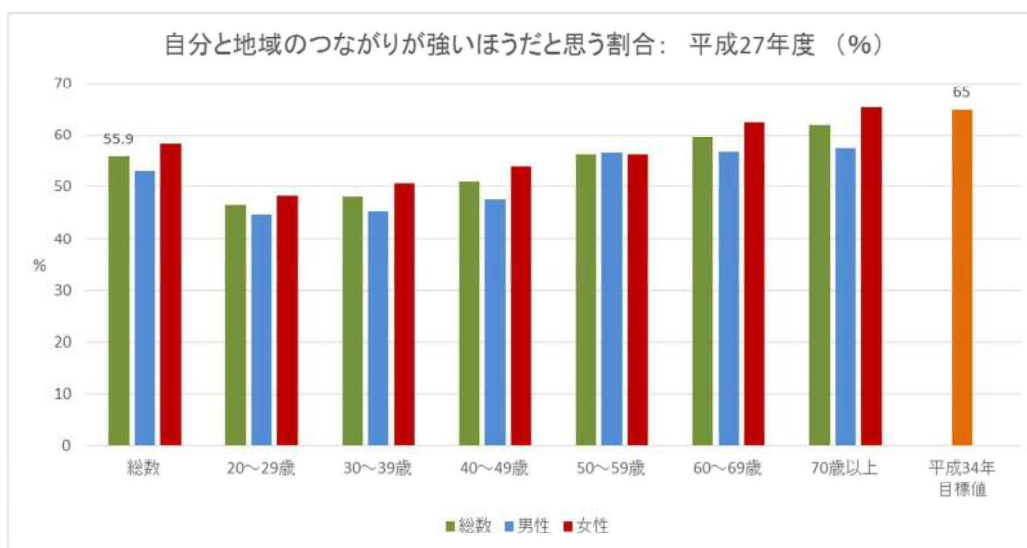


データソース：厚生労働省「国民健康・栄養調査」

図4-2

別表第四 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

- ① 地域のつながりの強化（居住地域でお互いに助け合っていると思う国民の割合の増加）

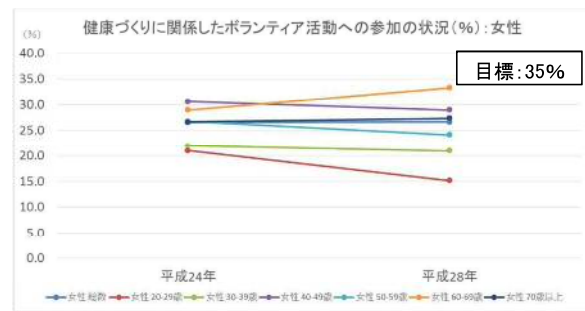
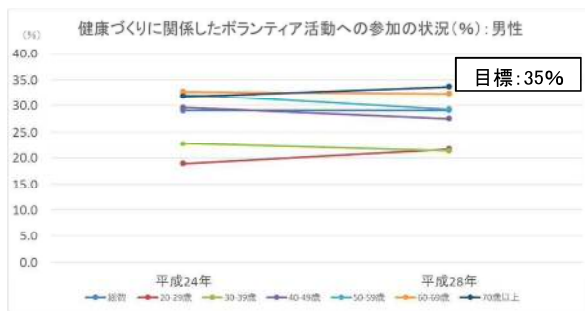
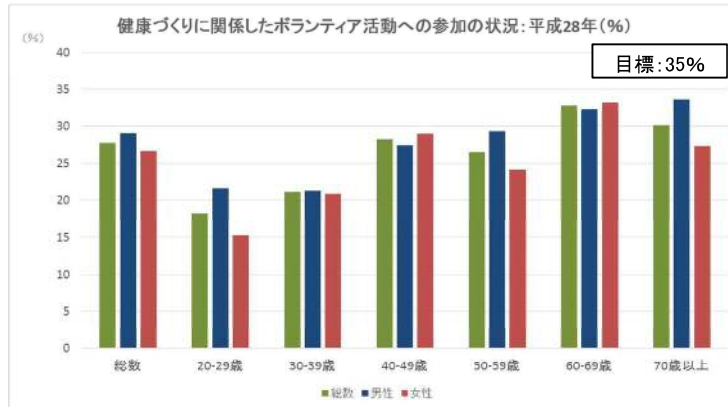


データソース：厚生労働省「国民健康・栄養調査」

図4-3

別表第四 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

② 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている国民の割合の増加

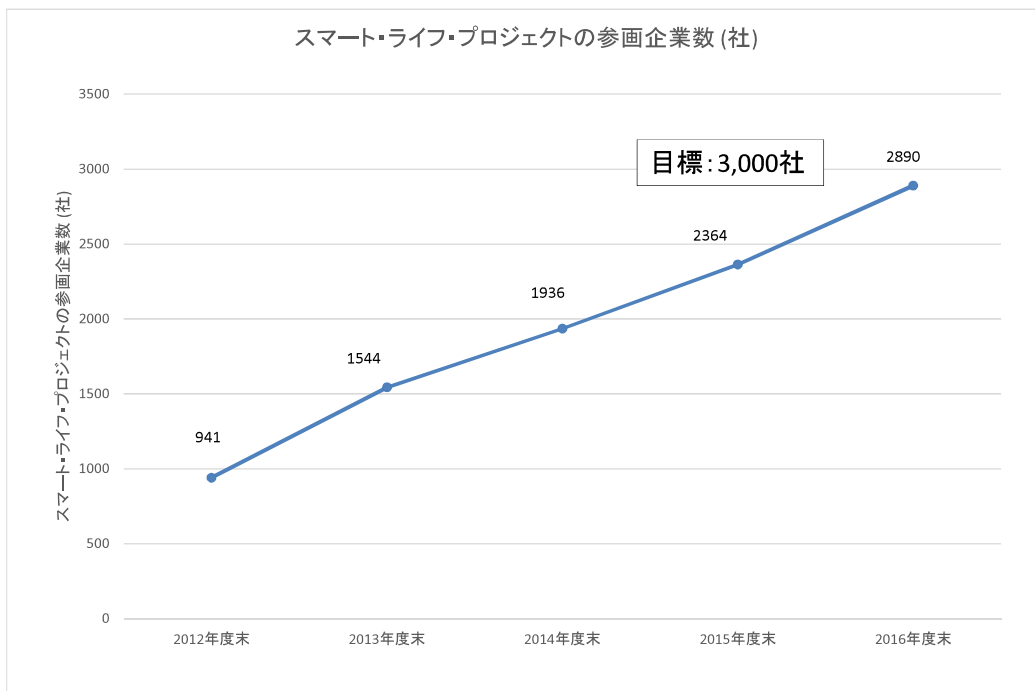


データソース:厚生労働省「国民健康・栄養調査」

図4-4

別表第四 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

③ 健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加

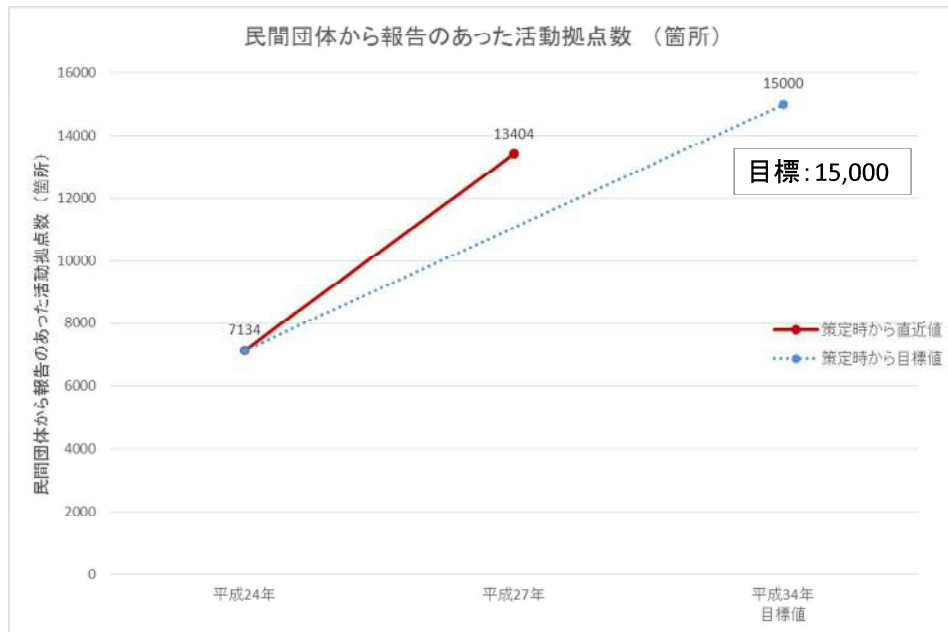


データソース:厚生労働省健康局健康課による把握

図4-5

別表第四 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

④ 健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加

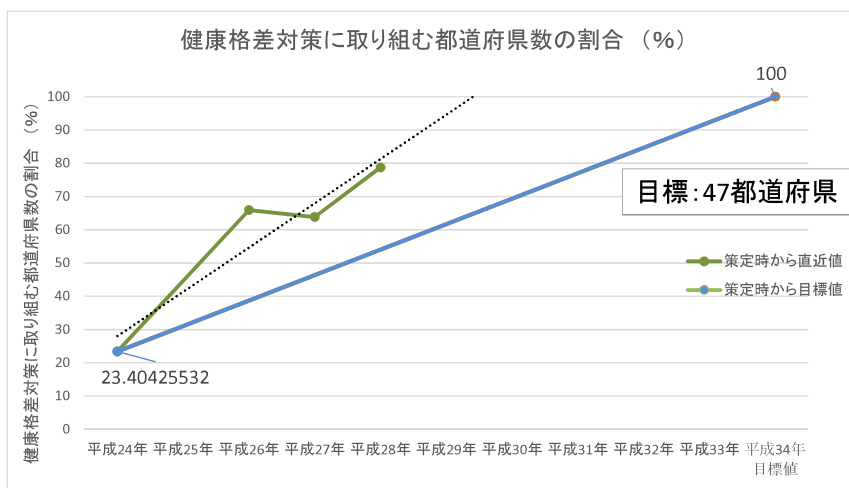


データソース：厚生労働省健康局健康課による把握

図4-6

別表第四 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

⑤ 健康格差対策に取り組む自治体の増加



データソース：厚生労働省健康局健康課による把握

図5-1

別表第五 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

(1) 栄養・食生活

① 適正体重を維持している者の増加(肥満(BMI 25以上)、やせ(BMI 18.5未満)の減少)

20歳～60歳代男性の肥満者の割合の推移(%)

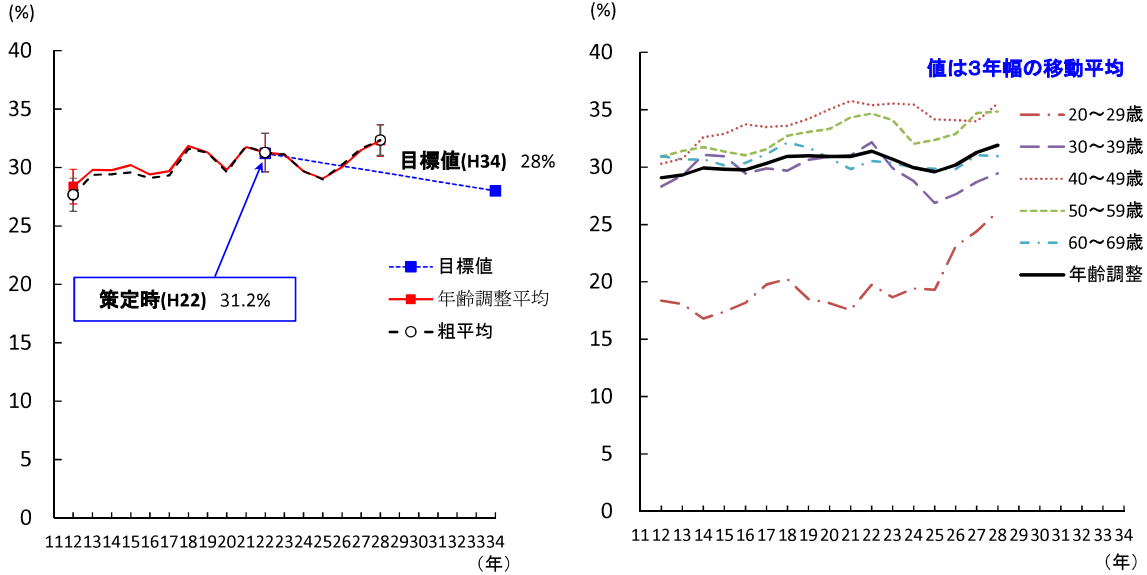


図5-2

別表第五 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

(1) 栄養・食生活

① 適正体重を維持している者の増加(肥満(BMI 25以上)、やせ(BMI 18.5未満)の減少)

40歳～60歳代女性の肥満者の割合の推移(%)

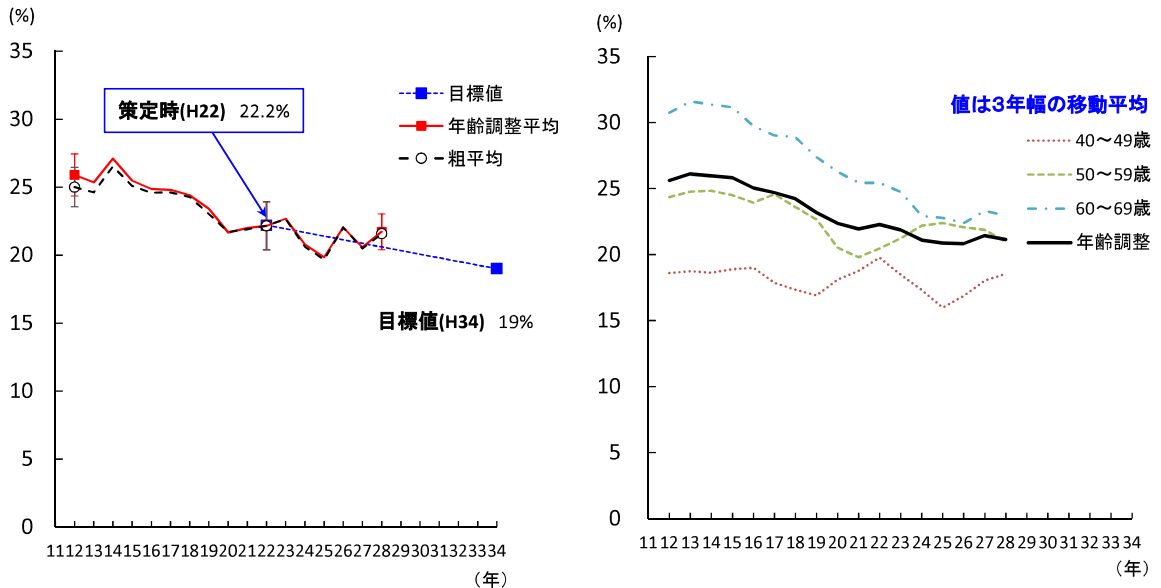


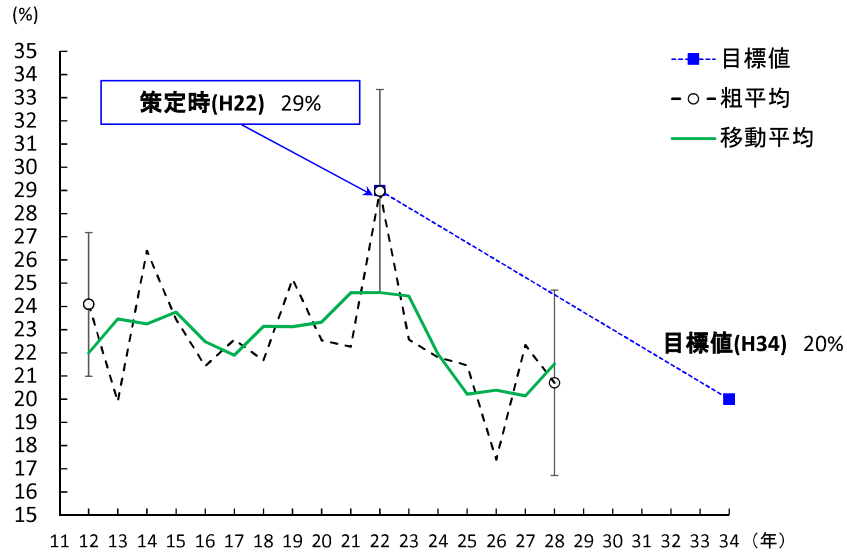
図5-3

別表第五 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

(1) 栄養・食生活

① 適正体重を維持している者の増加(肥満(BMI 25以上)、やせ(BMI 18.5未満)の減少)

20歳代女性のやせの者の割合の推移(%)



データソース:平成14年までは厚生労働省「国民栄養調査」、平成15年以降は厚生労働省「国民健康・栄養調査」
※ 国立健康・栄養研究所作成

図5-4

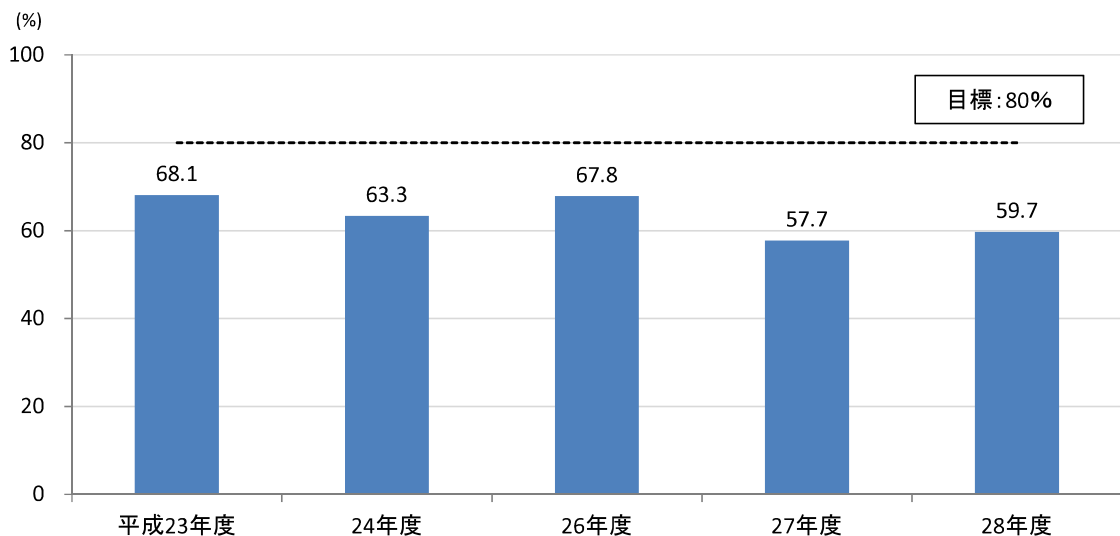
別表第五 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

(1) 栄養・食生活

② 適切な量と質の食事をとる者の増加

ア 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合(%)



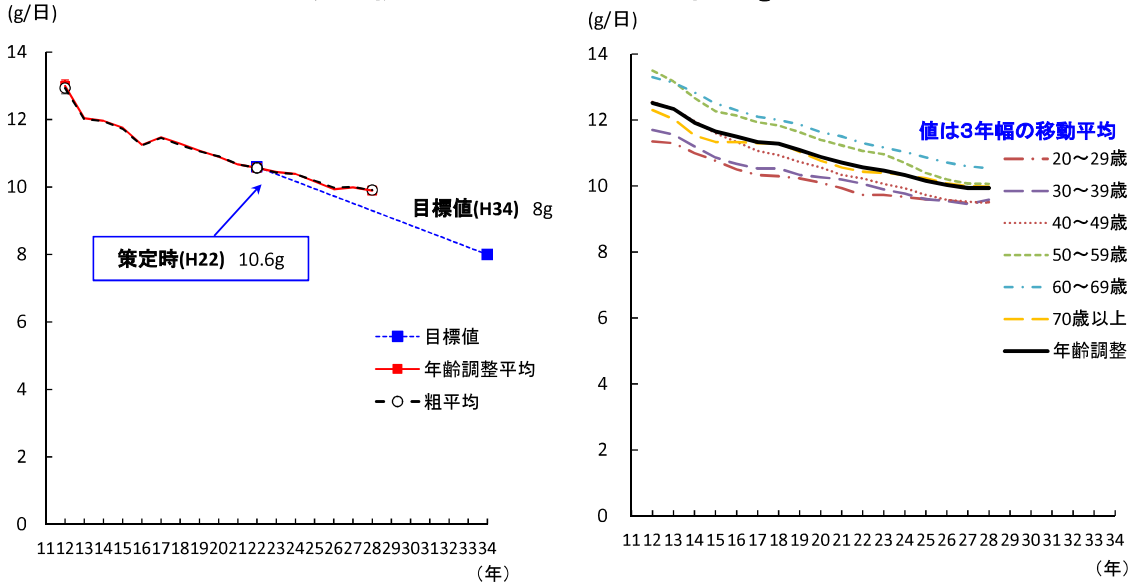
データソース:平成27年までは内閣府「食育に関する意識調査」、平成28年は農林水産省「食育に関する意識調査」

図5-5

別表第五 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

- (1) 栄養・食生活
- ② 適切な量と質の食事をとる者の増加
 - イ 食塩摂取量の減少

食塩摂取量の平均値の年次推移(g/日)



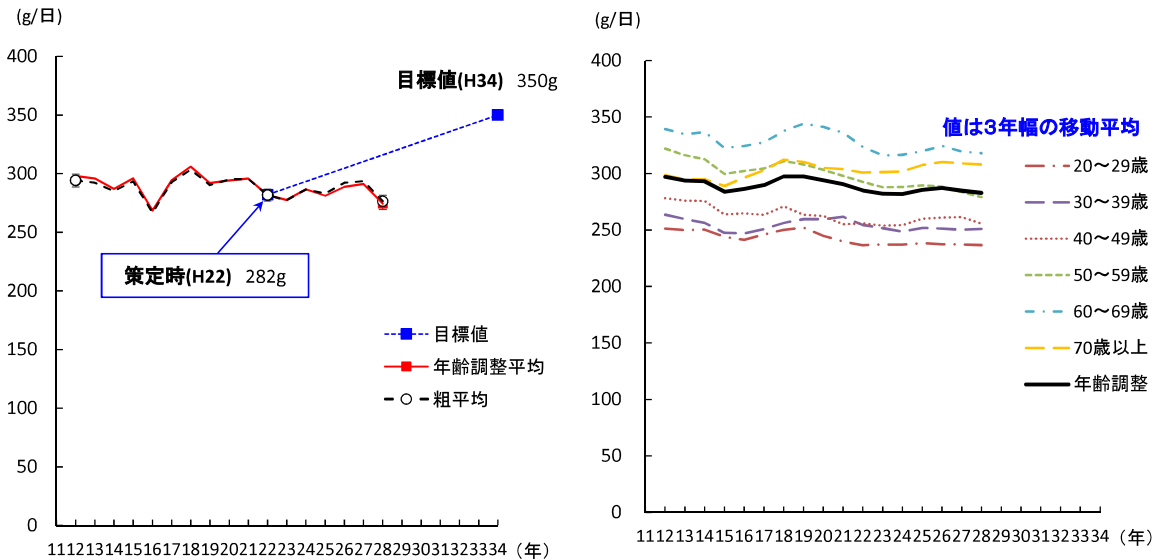
データソース: 平成14年までは厚生労働省「国民栄養調査」、平成15年以降は厚生労働省「国民健康・栄養調査」
※ 国立健康・栄養研究所作成

図5-6

別表第五 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

- (1) 栄養・食生活
- ② 適切な量と質の食事をとる者の増加
 - ウ 野菜と果物の摂取量の増加

野菜摂取量の平均値の年次推移(g/日)



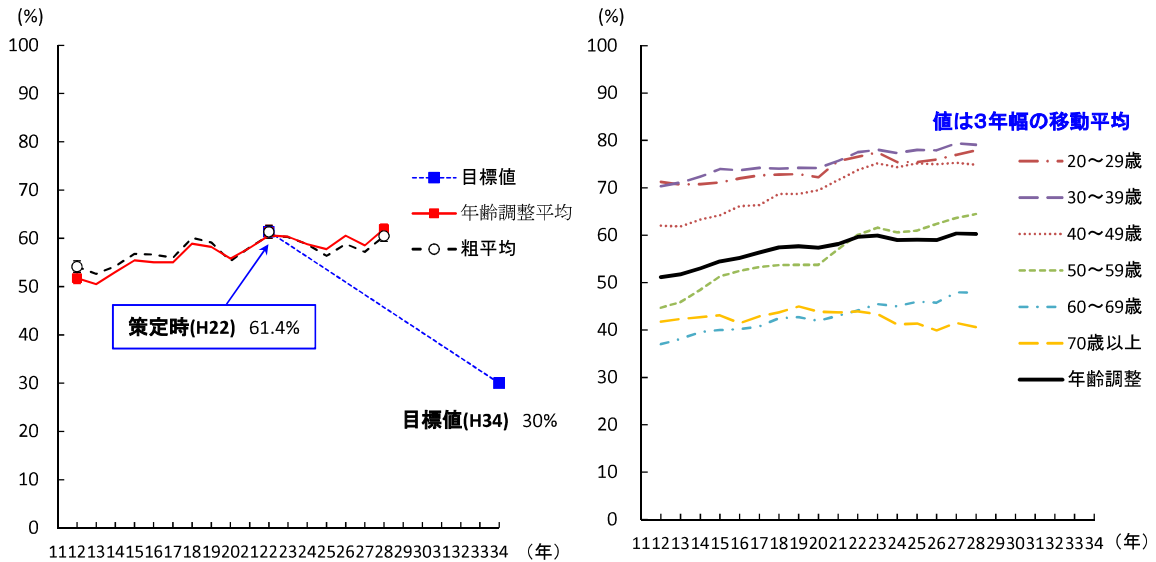
データソース: 平成14年までは厚生労働省「国民栄養調査」、平成15年以降は厚生労働省「国民健康・栄養調査」
※ 国立健康・栄養研究所作成

図5-7

別表第五 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

- (1) 栄養・食生活
 - ② 適切な量と質の食事をとる者の増加
 - ウ 野菜と果物の摂取量の増加

果物摂取量100g未満の者の割合の年次推移(%)



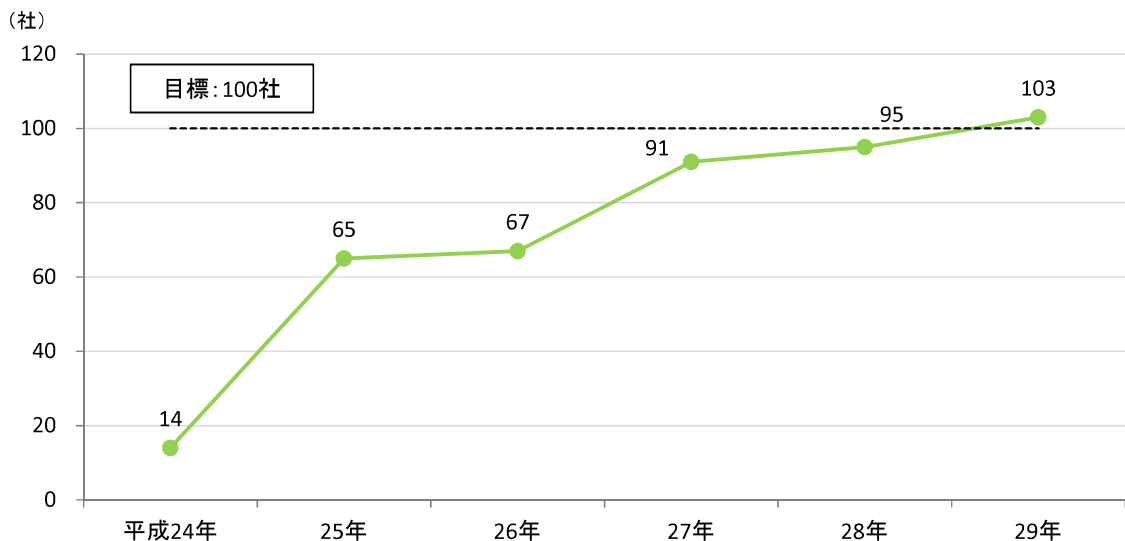
データソース:平成14年までは厚生労働省「国民栄養調査」、平成15年以降は厚生労働省「国民健康・栄養調査」
※ 国立健康・栄養研究所作成

図5-8

別表第五 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

- (1) 栄養・食生活
 - ④ 食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数の増加

食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の登録数の年次推移(社)



※食品中の食塩や脂肪の低減に取り組み、Smart Life Projectに登録のあった企業数